

(2) 景観形成重点地区

① 深大寺通り周辺景観形成重点地区

開創以来 1300 年の悠久の歴史を刻む深大寺を中心として、その参道等につつ土産物店や飲食店、住宅等に見られる銀ねず色の瓦を葺いた勾配屋根や、真壁造りやこれに類する和風様式の建築物、しっくいや土壁などの伝統的な外壁またはこれに類する落ち着いた色彩の外壁等、特徴的な形態を持つ建築物によって形成された街並みは、調布の歴史や文化を語る上で重要な地区となっています。

また、本地区は、国分寺崖線に位置することで、地区内には湧水による清水が流れ、緑豊かな木々が生き茂り、四季の彩りを感じることでできる景観が見られます。また、深大寺とその門前の歴史的な趣を有した街並みの他、隣接して都立神代植物公園等があることから、週末には多数の観光客が訪れる地区となっています。

なお、深大寺通り周辺地区は、深大寺通り、寺前通り、参道のいずれかに接する敷地とします。

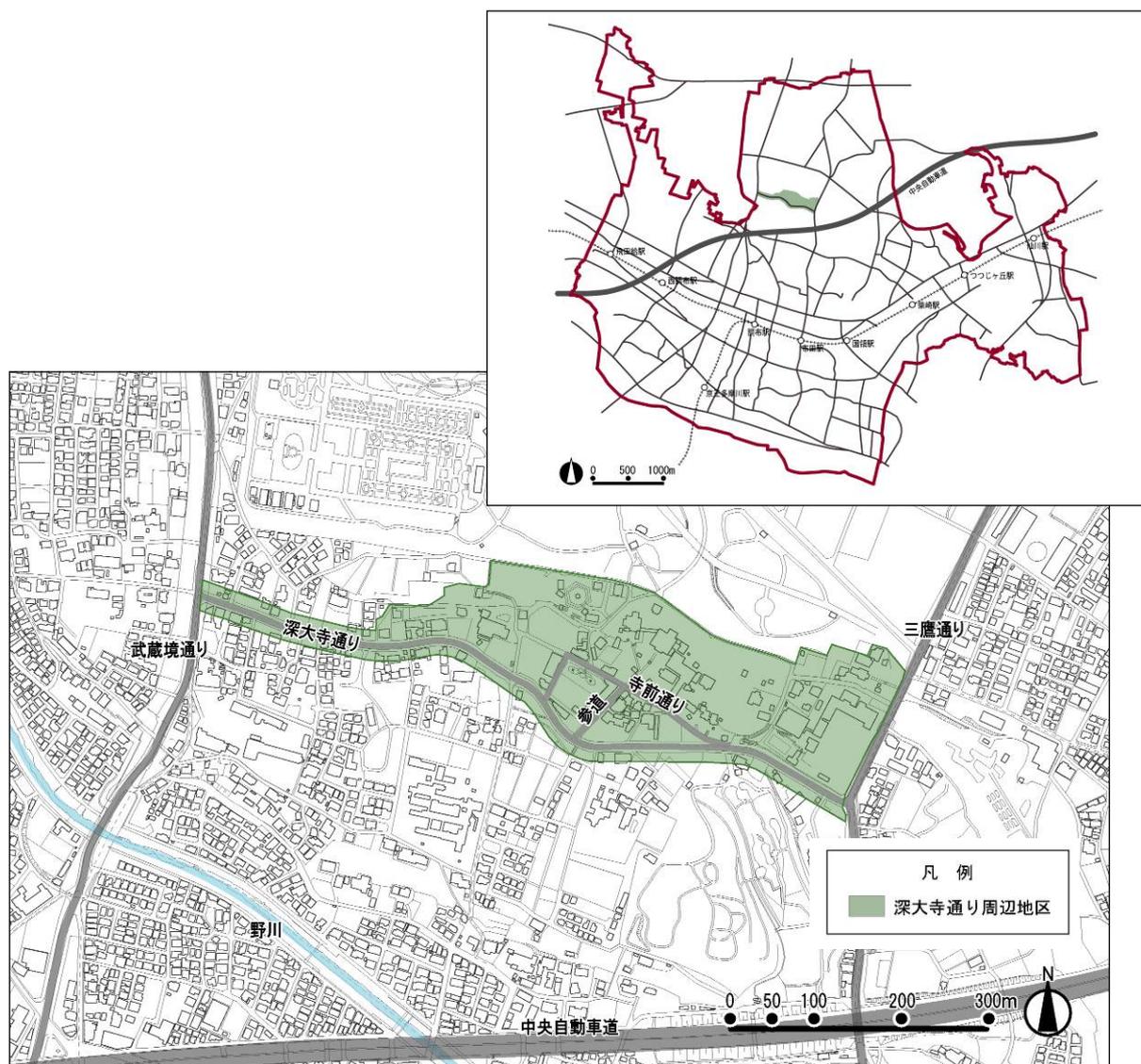


図 深大寺通り周辺景観形成重点地区の範囲